

2025年7月14日

CEOインサイト：ドイツへの海外投資意欲の前例のない回復

海外からドイツへの投資が、昨年の落ち込みを経て、急速に回復しつつある。気候目標への取り組みやインフラ政策、改革姿勢が評価され、投資家は再びドイツを安定的かつ戦略的な投資先として見直し始めている。税制優遇や民間資本の動員も進み、ドイツは欧州の投資拠点として再び注目を集めている。

センチメントの劇的な転換

ここ数カ月、海外投資家によるドイツへの関心は目覚ましい回復を見せており、前年に2011年以来の最低水準まで下落していた状況に逆行する動きとなっている。KfW（ドイツ版「国際協力銀行（JBIC）」に相当）のCEOであるシュテファン・ヴィンテルスは、自身30年以上のキャリアの中で「これほど急速なムードの変化を経験したことはない」と強調し、ニューヨーク、ロンドン、チューリッヒでのプロモーションイベントでは、ドイツに対する強い投資意欲が明らかになったと述べた。すでに米国に多額の投資を行っている多くの大手海外投資家にとって、ドイツは政治的安定性と気候目標への強いコミットメントによって、ポートフォリオ多様化の魅力的な投資先と見なされている。

EYの報告によれば、ドイツにおける外国投資プロジェクトは前年比17%減少し、特に米国企業からの減少が著しく（27%減）、ドイツはヨーロッパ諸国の中で最大の減少を記録した国となった。これに対し、ドイツ政府は大型の減税パッケージ（「Investitions-Booster」）を計画しており、機械設備および電気自動車に対する加速度償却を通じて投資家の誘致を目指している。

機会の重要な原動力としてのインフラ

この楽観的なムードの回復は、ドイツがインフラ再構築に大きく舵を切ったことと一致している。新しいドイツ政府はインフラの近代化を最優先事項に掲げ、今年初めには、画期的な5,000億ユーロ規模のインフラおよび気候特別投資基金を設立した。経済大臣Katherina Reicheは、民間資本の緊急な必要性を強調している。

ドイツで長年放置されてきたインフラは、2024年に一部崩落したドレスデンのカローラ橋に象徴されるように、大規模な資金注入を必要としている。見積もりによれば、橋だけで約1,000億ユーロ、ドイツ鉄道（Deutsche Bahn）の鉄道網には1,500億ユーロ、より広範なニーズを満たすには今後10年間で6,000億ユーロ超が必要とされている。民間投資家は、こうした機会にますます惹かれており、ベルリンが長年、大規模プロジェクトを妨げてきた官僚的な手続きや規制の障壁を削減しようとしていることも後押しとなっている。

戦略的改革と政治的な推進力

ドイツの連立協定には、海外投資家を惹きつけるための重要な施策が含まれている。これには以下が含まれる：インフラの近代化、デジタル化、労働移民改革、2045年までに気候目標を達成するという誓約。KfWのWintelsは、最近の米国の政策的な混乱とは著しく対照的な、ドイツの政治的安定性が、世界の資本を引き寄せる価値ある資産であると主張している。

>>>

J.P.モルガンおよびドイツ銀行のエコノミストたちも、ドイツの規制改革とインフラ投資へのコミットメントが、民間セクターの大規模な参画を解き放つ可能性があると一致している。しかしながら課題も残る。プロジェクトを迅速に展開する能力と、承認プロセスのスピードが精査されており、一部の専門家は最終的には政治的意志と実行力が成功を左右すると警告している。

主要投資プロジェクトにスポットライト

グローバル企業によって発表された投資の規模は、ドイツが国際舞台で依然として重要な存在であることを強調している。主要プロジェクトは、半導体、製薬、エネルギー、デジタルインフラといった重要産業にまたがっており、いずれも2025年までにドイツの経済構造を形成すると見られている。

- TSMC（台湾）：ドレスデンに100億ユーロを投資し、2025年に稼働予定の半導体工場
- BP（英国）：北海に6.8億ユーロを投じて2つの洋上風力発電所を建設
- Apple（米国）：ミュンヘンの欧州チップ設計センターにさらに10億ユーロを投入

これらの取り組みは、高成長分野における戦略的機会を求める投資家にとってのドイツの魅力を示している。

強固なファンダメンタルズに基づく「投資の磁力」

高いエネルギー価格や規制の複雑さといった課題があるにもかかわらず、ドイツは依然として、世界の投資家を惹きつけ続ける強固なファンダメンタルズを有している。

- ・ヨーロッパの中心に位置する一等地：ドイツはEU市場へのシームレスなアクセスを提供し、国際的な展開にとって重要なゲートウェイとなっている
- ・イノベーション重視：研究開発（R&D）への伝統的な注力、世界レベルの大学、ノウハウと資金源との連携により、産業横断的なイノベーションの肥沃な基盤が築かれている
- ・エネルギー転換のリーダーシップ：野心的な再生可能エネルギー目標と、サステナビリティへの重点により、グリーン経済の先導役としての地位を確立している

結論

海外投資家のセンチメントにおけるこの前例のない転換、ドイツの野心的なインフラ政策、そして政治的安定性は、同国を外国投資の潜在的なブームに向けて位置づけている。戦略的な税制優遇、規制改革、民間資本の動員を通じて、ドイツはこの機会を活かし、長年にわたるインフラの課題に取り組むと同時に、欧州における有力な投資拠点としての地位を強化する態勢を整えつつある。

Leonard Meyer zu Brickwedde

Dr. Leonard Meyer zu Brickwedde
President and CEO

Kensho Investment Corporation
Sanno Park Tower 3F
2-11-1 Nagata-cho,
Chiyoda-ku, Tokyo 100-6162

Tel: +81(0)3-6205-3039
contact@ken-sho-investment.com